

作成日：2020年12月14日
承認番号：RD6809-009-0
文書番号：20126578

内装床タイル用接着剤
MS フロアー10 試験成績書



1. 目的

内装床タイル張り用接着剤「MS フロアー10」の日本接着剤工業会規格 JAI19 セラミックタイル張り内装用有機系接着剤のタイプII区分に規定される性能試験を行った。

2. 試験項目

- 2.1. 接着強さ
- 2.2. 硬度

3. 供試材料

下地材料：モルタル板(70mm×70mm×20mm)、合板(70mm×70mm×12mm)

被着材料：B I 施釉セラミックタイル(95mm×95mm×6mm)を 40mm 角にカットし使用した。

4. 試験方法

- 4.1. 接着強さ

(1)試験体の作成

23±2°C、50±10%RH 環境下で下地材料に対しくし目コテ(幅×高さ×ピッチ:形状=3mm×3mm×6mm:U ノッチ)を用い接着剤を塗布した。オープンタイム(以下、OT)を 20 分設けた後、被着材料を張り付け、1kg のおもりで 30 秒圧締し試験体とした。

(2)養生条件

養生及び処理の条件を表 1 に示す。

表 1. 養生及び処理条件

条件	項目	時間 (時間)	温度 (°C)	水分
養生条件	標準養生	168	23±2	50±10 (RH%)
	低温養生	168	5±2	—
処理条件	乾燥・水中浸せき 繰返し処理	4	23±2	水中
		20	60±2	50±10 (RH%)
	これを 1 サイクルとして 4 サイクル繰り返す。			
	熱劣化処理	672	80±2	乾燥
	低温硬化処理	672	5±2	—
	アルカリ水中浸せき処理	48	23±2	水酸化カルシウム 飽和溶液中

(3)測定条件

テンション万能試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

4.2. 硬度

(1)試験体の作成

接着剤を 2mm 厚の皮膜に成形し試験体とした。

(2)養生条件

23±2°C、50±10%RH 環境下で 672 時間養生した。

(3)測定条件

皮膜を 3 枚重ねて厚みを 6mm とし、デュロメーター硬度計 TypeA で 5 点測定をした。

5. 試験結果

5.1. 接着強さ

表 2. 接着強さ試験結果

品質試験項目	モルタル板		合板		規格値 (N/mm ²)
	接着強さ (N/mm ²)	破壊状態 (%)	接着強さ (N/mm ²)	破壊状態 (%)	
標準	1.29	AB20A70	0.86	AB22A78	0.60 以上
乾燥・水中	1.13	AB20A80	0.66	AB34A62GA4	
低温	1.18	AB12A88	0.73	AB40A58GA2	
熱劣化	1.57	AB36A62GA2	0.76	AB28A64A8	
アルカリ水中	0.84	AB20A80	-	-	0.30 以上

表 3. 破壊状態の位置と記号

記号	破壊の位置
AB	タイルと接着剤の界面破壊
A	接着剤の凝集破壊
GA	下地材と接着剤の界面破壊
G	下地材の凝集破壊

5.2. 硬度

表 5. 硬度試験結果

	硬度
1	A85
2	A86
3	A87
4	A86
5	A86
中央値	A86
規格値	A70 以上

6.まとめ

内装床タイル張り用接着剤「MS フロアーアー10」は日本接着剤工業会規格 JAI19 セラミックタイル張り内装用有機系接着剤のタイプII区分に規定される性能を満たすことを確認した。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、じゅうぶん信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。 現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。

作成:2020年12月14日（文書番号:20126578）

改訂:-（文書番号:-）